

令和6年度 外国語科及び外国語活動 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(現6年)・校内正答率が目標値を上回っており、基礎基本や既習事項の活用が概ねできると言える。

(2) 課題

(現6年)・ゲームやクイズなどのコミュニケーションを楽しむ様子が見られるが、自分の様子を伝えるコミュニケーションになると、伝え方が分からなくなってしまうことがある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

6年

令和6年度結果	令和5年度結果
問題全体回答率において、目標値に対し、校内正答率は、0.4ポイント上回っている。目標値を下回った領域は以下の通りである。 【アルファベットの読み(聞く)】 【アルファベットの書き(聞く)】 【英作文】	問題全体回答率において、目標値に対し、校内正答率は、8.3ポイント下回っている。全ての領域で区や全国の平均を下回っている。領域別にみると、アルファベットの読み書き、英作文に関する問題の中に、正答率が大きく目標値を下回っているものがある。

(2) 分析(観点別)

6年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、読み方を判別したり、活字体の大文字や小文字を書いたりする技能が十分ではない。 ・短い物語を聞き、話の概要を捉えることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例文を参考にしながら、簡単な語句や表現を用いて英文を作ることができていない。 ・記述問題の無回答の割合が、他教科と比べて少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみをもって課題に取り組むことができおらず、既習内容を生かして、すすんでコミュニケーションをとることができない。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるために、言葉に親しむゲームや、歌や言葉に親しむ活動を多くとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが実感をもって質問を考え、答えを探してコミュニケーションができるような活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるために、コミュニケーションの場面を多くとる。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞く練習を繰り返し行い、違いを理解し、瞬時に判別することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例文を参考に文を作ってみることから始め、最終的には与えられた語句や資料から選んで文が作れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを表現する時間を多く設け、外国語を用いたコミュニケーションの楽しさを味わうことができるようにする。

<ul style="list-style-type: none">・教師やALTの話す速さを必要に応じて遅くしたり、発音でポイントとなることを強調したりして工夫する。	<ul style="list-style-type: none">・学習指導要領に示された言語の使用場面や働きの例を踏まえて設定し、活動に取り組ませる。	<ul style="list-style-type: none">・教師やALTが率先して手本を示し、「やってみたいな。」と思えるよう授業展開を工夫する。
--	---	--